

平成30年度事業報告

平成30年度は、平成30年3月の第13回理事会の議決を経た事業計画に基づき、道路橋点検士技術研修会、講演会、助成、国内外の支援活動、広報及び橋梁の診断業務等を実施した。

1 実施事業等

1-1 研修等

(1) 道路橋点検士技術研修会

道路橋の点検を担う技術者の更なる技術力の向上や点検結果の精度・信頼性の確保を図るため、平成30年度は道路橋点検士技術研修会を5回実施した。平成30年度の研修修了者は689名、平成6年度からの累計開催数は102回で、累計の研修修了者は14,290名となった。また、道路管理者を対象とした道路橋点検技術講習会を1回開催し、90名が受講した。

さらに、道路橋点検士委員会において道路橋点検士技術研修会と同等であると認定された他機関が実施する道路橋の点検に関する研修等の合格者等のうち、受験希望者に対し道路橋点検士補検定試験を1回実施し、8名が合格した。

(2) 道路橋点検士制度

登録状況は以下のとおり。

	登録人数		国土交通省登録資格
	平成30年度	累計	
道路橋点検士	874名	6,870名	平成27年1月登録
道路橋点検士補	206名	1,058名	平成28年2月登録

平成29年度に引き続き、道路橋点検士の更新期限を迎える方を対象とする道路橋点検士更新講習会を開催した。平成30年度は平成26年度に登録された道路橋点検士を対象とし6都市で9回実施し、836名が受講した。

1-2 自主研究

(1) 橋梁保全に関する調査研究

橋梁保全に関するCIM活用に向け、平成30年度はCIM導入推進者へのヒアリングや利用事例の聴講、CIMに関する講習会への参加を実施し、基礎的な知識・理解を深めた。

(2) 国際会議への参加

以下の国際会議等に職員を派遣し、橋梁技術等に関する意見交換、情報収集を行った。

会議名	日程	会議場所
ベトナム・カンボジア視察	11月4日～13日	ハノイ・ホーチミン(ベトナム) シェリムアップ、プノンペン(カンボジア)
fib(国際コンクリート連合) Congress2018	10月6日～15日	メルボルン(オーストラリア)
米国橋梁点検技術研修 (FHWA-NHI)受講	8月6日～17日	オクラホマ(アメリカ)
IABMAS(橋のメンテナンス、安全管理に関する国際会議)2018	7月8日～14日	メルボルン(オーストラリア)
PIARC 技術委員会・国際ワークショップ	6月11日～17日	サンティアゴ(チリ)
PIARC 技術委員会・国際セミナー	11月4日～10日	ハノイ(ベトナム)

(3) 賛助会員特別講演会の開催

平成25年度より賛助会員を対象として、橋梁調査会の取組みと時事テーマを取り上げた講演会を開催している。平成30年度は4月に立命館大学理工学部環境システム工学科教授の建山和由氏より「建設技術の新たなステージ ～i-Construction～」をテーマとして講演が行われた。参加者は151名である。

(4) 第5回国際橋梁シンポジウムの開催

平成25年度より開催している、国際橋梁シンポジウム「世界の橋梁建設とメンテナンス」を11月に開催した。講演は、ベトナム、フィリピン、インドネシア、日本の講師から、各国の橋梁建設、橋梁メンテナンスについて報告された。参加者は316名である。

(5) 助成

橋梁技術に関する研究開発に関して公募し、優秀計画と認められる2件に対して、当該研究開発に要する費用の一部を助成した。

- 道路床版のたわみ挙動に対する簡易計測手法の構築
- 引張力を受ける部分溶込み溶接継手の耐荷力評価に関する研究

(6) 寄附

・京都大学の「道路アセットマネジメント政策(橋梁調査会)講座」へ寄附
従来の道路に関する維持管理の状況を把握・評価し、今後のより高度で効果的・効率的なアセットマネジメントの立案及び実施方策に関する研究を行う講座へ寄附を行った。

設置期間：平成28年4月1日～平成31年3月31日

(7) 支援活動

JICA等が実施する国際協力研修に講師を派遣した。

研 修 名	時 期	研修 参加人数
課題別研修「道路維持管理（E）」（JICA）	5月10日	8名
国別研修キルギス、タジキスタン「橋梁総合」（JICA）	7月31日	6名
国別研修フィリピン「道路・橋梁の建設・維持管理に係る品質管理向上」（JICA）	9月3日	7名
課題別研修「橋梁総合」（JICA）	9月21日	8名
国別研修キルギス、タジキスタン「総合橋梁②」（JICA）	2月8日	6名
国際地震工学研修（2018-2019年コース）（国研建築研究所）	3月20日	5名

1-3 広報

(1) 機関誌「J_BEC レポート」の刊行

機関誌「J_BEC レポート」Vol.14を刊行した。

(2) 各種国内会議・イベント等への協力

各地方整備局等が主催する建設技術展等のイベントに参加し、橋梁の点検・診断技術等に関する展示を行った。

また、「建設技術フェア2018in中部」等への後援、「道路ふれあい月間」等への協賛を行った。

2 その他事業

2-1 調査研究業務

(1) 橋梁の診断業務

国土交通省の「橋梁定期点検要領」及び「道路橋定期点検要領」に基づき、直轄国道の橋梁診断業務を実施した。

(2) 橋梁工事技術審査支援業務

四国地方整備局が実施する総合評価方式による橋梁工事について、入札評価手続きに関する支援業務を実施した。

(3) 橋梁点検用ロボット開発導入支援業務

ロボットによる橋梁点検の実施可能性を検証するため、試行的導入に向けた現地検証の実施、各ロボット技術の評価、評価委員会の運営等の支援業務を実施した。また、先進的な橋梁点検技術の現場検証の支援、ロボット等を効率的に導入することを目的とする橋梁構造や橋梁マーカの検討業務等を実施した。

さらに、米国におけるインフラ点検ロボット・AIに関する動向調査をピッツバーグ、サンフランシスコにて実施した。

(4) 国の道路橋維持管理施策に関する業務

道路メンテナンス年報の作成にかかる点検進捗率、点検診断結果、修繕の進捗、健全度Ⅳの施設の措置状況等のデータ整理、さらに修繕着手状況の整理を実施した。

また、愛知、静岡、三重の道路メンテナンス会議に関する資料作成を実施した。

(5) 地方公共団体の道路橋維持管理に関する支援業務

島根県等地方公共団体が実施している橋梁の維持管理全般を支援するために、橋梁の点検・診断、補修・補強に関する諸問題に対してアドバイスを実施した。

(6) 道路橋データベースに関する検討業務

橋梁点検の質・効率の向上に向けた分析を実施した。

2-2 人材育成支援業務

国土交通省及び地方公共団体の職員を対象として、橋梁の維持管理等に関する研修を支援した。

2-3 出版

「道路橋の補修・補強計算例Ⅱ」他の図書の販売を行った。

3 その他

3-1 会議の開催

(1) 理事会

第14回理事会 平成30年6月4日

審議事項：平成29年度事業報告及び決算(案)について
第7回定時評議員会の招集について

報告事項：職務執行状況の報告について

第15回理事会 平成31年3月19日

審議事項：平成31年度事業計画及び予算について

報告事項：職務執行状況の報告について

(2) 評議員会

第7回評議員会 平成30年6月20日

審議事項：平成29年度決算（計算書類等）の承認について
評議員の選任について

理事の選任について

定款の改正について

理事の職務権限規程の改正について

評議員、理事及び監事報酬規程の改正について

報告事項：平成29年度事業報告

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年6月

一般財団法人 橋梁調査会